

2012年9月18日
株式会社日立製作所

日立のITプラットフォーム製品にて最新OS「Windows Server® 2012」に対応 クラウドコンピューティング、仮想化への対応をさらに強化

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、PC サーバ製品において、日本マイクロソフト株式会社(代表執行役 社長: 樋口 泰行)のサーバオペレーティングシステムの新製品であるWindows Server® 2012 のプレインストールモデルを順次提供します。また、ストレージ製品、ソフトウェア製品、サポートサービスにおいても、Windows Server® 2012 に対応します。これらの製品は、2012年度第3四半期(2012年10~12月)から順次、販売を開始する予定です。

<対応製品>

●PC サーバ

- ・統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」
- ・日立アドバンスドサーバ「HA8000 シリーズ」
- ・エントリーブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」

●ストレージ

- ・エンタープライズディスクアレイ「Hitachi Virtual Storage Platform」
- ・ユニファイドストレージ「Hitachi Unified Storage 100 シリーズ」
など

●ソフトウェア

- ・統合システム運用管理「JP1」をはじめとする日立ミドルウェア

●サポートサービス

- ・ワンストップサポートサービスを提供する「日立サポート 360」

日立は Windows Server® 2012 の開発当初から、PC サーバおよびストレージにおいて、Windows Server® 2012 環境での信頼性を高めるための各種開発、評価、検証を、米国 Microsoft Corporation と進めてきました。今後、これらの取り組みの成果である評価、検証結果などの情報も順次提供します。

日立は、今後販売する新製品において、従来モデルの特長である優れた信頼性を継承しつつ、仮想化機能や管理機能の強化などを行った最新の Windows Server® 2012 の採用により、クラウドコンピューティングや、大量データ(ビッグデータ)の利活用、社会インフラシステムなど、幅広い分野のシステム基盤として提供していきます。

■日立の Windows Server® 2012 に関する最新情報について

今後、各製品における検証状況などの情報を公開して行く予定です。

http://www.hitachi.co.jp/products/it/windows_os/support/ws2012/

■日立ミドルウェアの Windows Server® 2012 対応計画について

Windows Server® 2008 R2 対応製品の最新バージョンもしくは後継製品にて、Windows Server® 2012 に対応していきます。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/om/windows/ws2012/fr/index.html>

■製品に関するホームページ

- ・統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」

<http://www.hitachi.co.jp/bds/>

- ・日立アドバンスサーバ「HA8000 シリーズ」

<http://www.hitachi.co.jp/ha8000/>

- ・エン트리ブレードサーバ「HA8000-bd/BD10」

<http://www.hitachi.co.jp/ha8000-bd/>

- ・日立ストレージソリューション

<http://www.hitachi.co.jp/storage/>

- ・日立ミドルウェア & プラットフォームソフトウェア

<http://www.hitachi.co.jp/soft/>

■他社商標注記

- ・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

- ・サーバ・ストレージ製品：HCA センタ

電話：0120-2580-12(利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く))

- ・ソフトウェア製品：HMCC(日立オープンミドルウェア問い合わせセンタ)

電話：0120-55-0504(利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く))

以上